

# 私立大学化学系学生の就職状況 に関するアンケートについて

芝浦工業大学

応用化学科

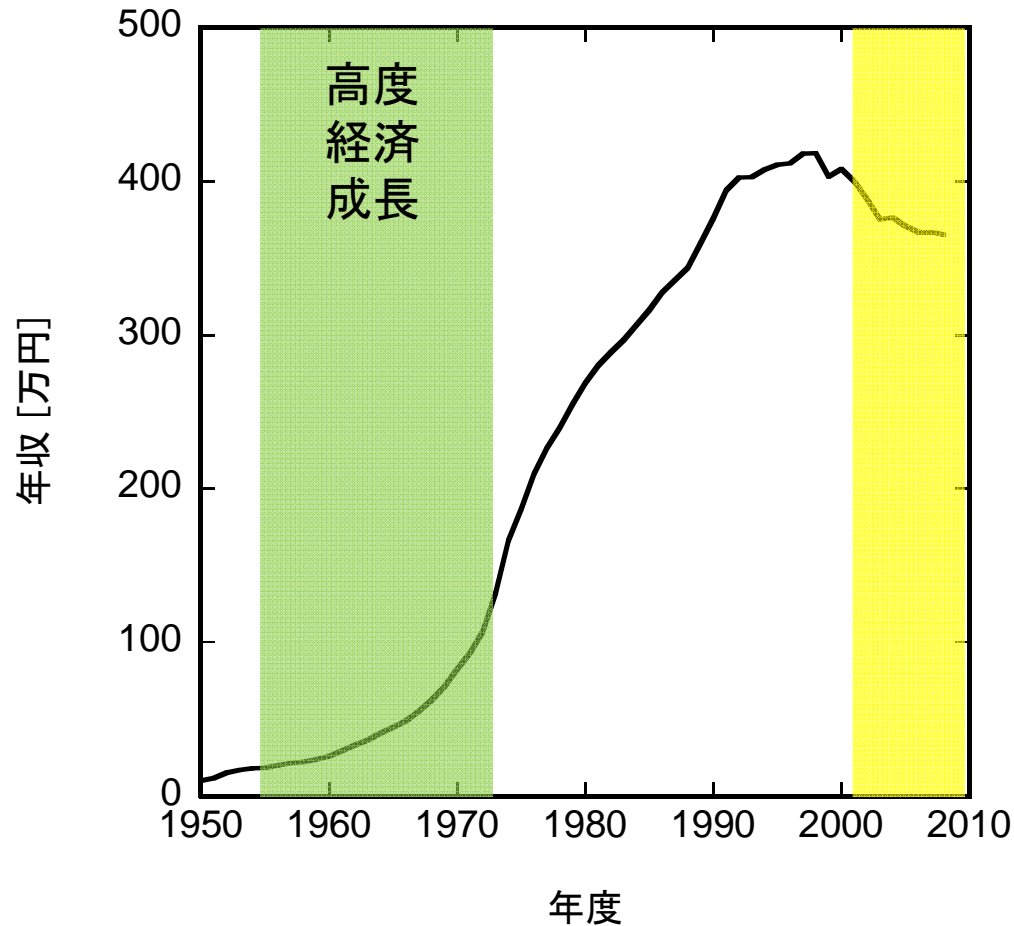
野村幹弘

# アウトライン

- 日本の人件費変化
  - 国税庁のデータ分析
- 就職状況
  - 朝日新聞の記事分析
  - 厚生労働省のデータ分析
- アンケート報告
  - 化学と工業56巻(2003)との比較
- まとめ & 問題提起

本講演内容は、野村個人の意見であり、所属機関の意見を代表するものではありません。

# 日本人の年収変化

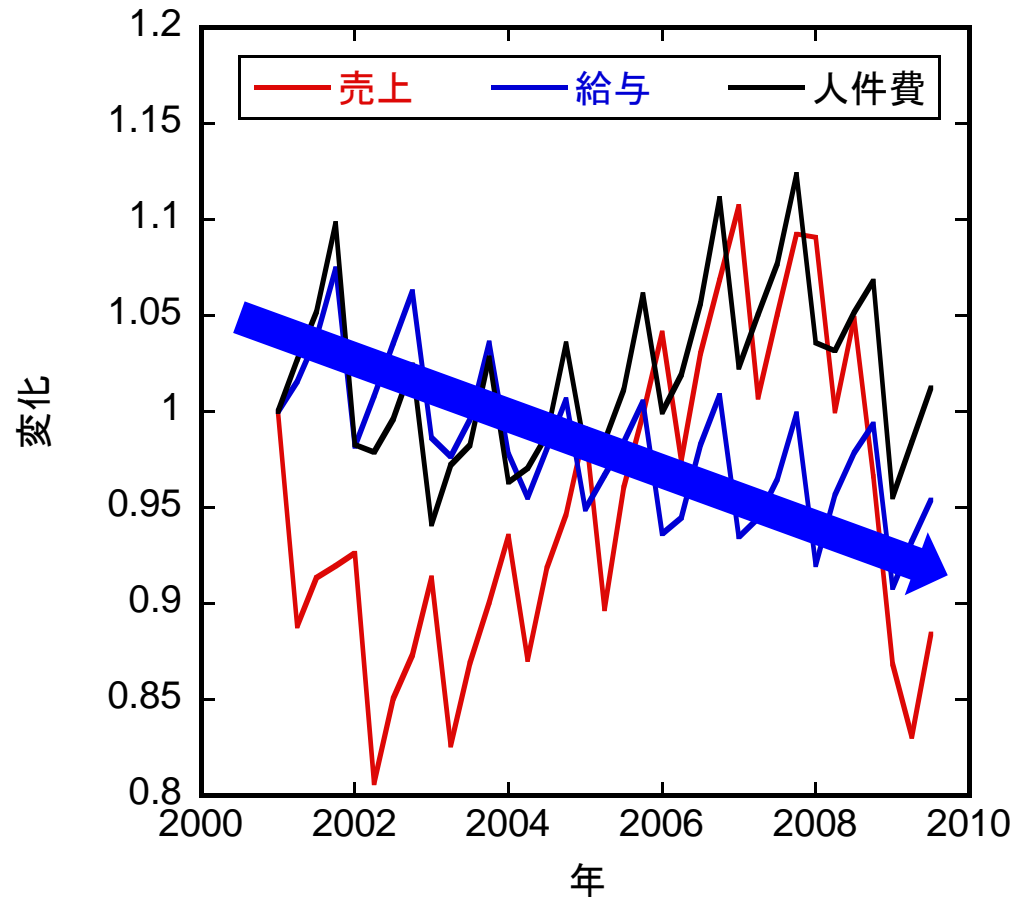


- 日本人の平均年収は、1995年頃にピークを迎えている。
- 年収分布は大きくなっている。
  - とはいえ、まだ分布は、世界最低レベルである。
- 日本から仕事がなくなっている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/高度経済成長>

[http://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/jikeiretsu/01\\_02.htm](http://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/jikeiretsu/01_02.htm)

# 一人あたりの人件費変化



- 売上が減少しても人件費の総額の変化は小さい。
- 年収低下には構造的な問題がある。
- 人件費の総額は、雇用の人数で調整している？
- 売上の増加が見込めないと正社員は雇いにくい？

# 2011年の採用計画

第3種郵便物認可 発行 日 業 庁 局 2010年(平成22年)3月28日

開：89社の合同企業説明会には大勢の「就活生」が集まった。東京都文京区、河合博司撮影

採用で重視する点 (複数回答)

熱意	27
人柄	28
価値観	5
活動	0
学生時代のマネー	3
語学力	0
成績	0
思考力	19
ショッピング能力	74
行動力	71
責任感	22
協調性	23
その他	11

## 面接回数も時間も増

採用で重視する点を選択肢から選んでもらう質問(複数回答)では、「コミュニケーション能力」(74社)が1位。前年に続きトップで、この数年、傾向は変わっていない。ほかに「行動力」(71社)、「人柄」(28社)、「熱意」(27社)、「協調性」(23社)が上位5位に入った。一方、「学生時代の活動」は3社、「マネー」(勝学)「成績」は1社で「その他」の回答は11社で「レジャーに耐える精神力(自立製作所)」、「チャル」(日立製作所)、「チャル」(日立製作所)、「チャル」(日立製作所)。

## 人物評価一層厳し

### 主要100社 11年春採用計画

少ない採用だからこそ、より優秀な人材を見極めたい。朝日新聞社を対象に行った2011年春の新卒採用計画調査で、面接やグループ討く人物や能力を見抜こうとする企業の姿勢が浮き彫りになった。厳しい就まれるなか、狭き門に臨む学生の就職活動はこれから正念場を迎える。

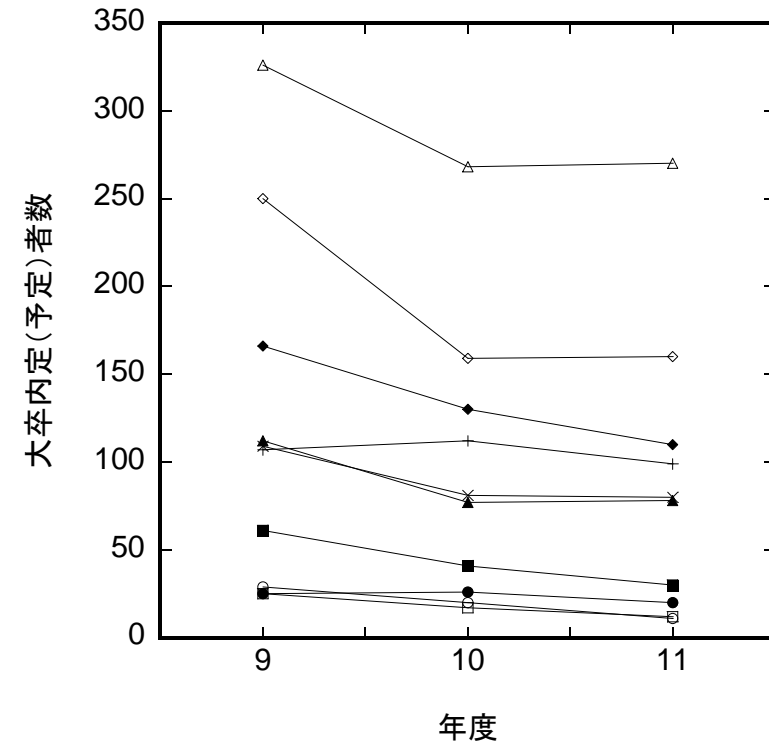
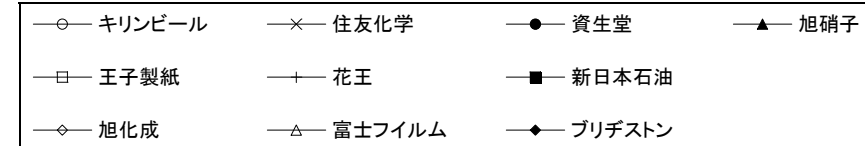
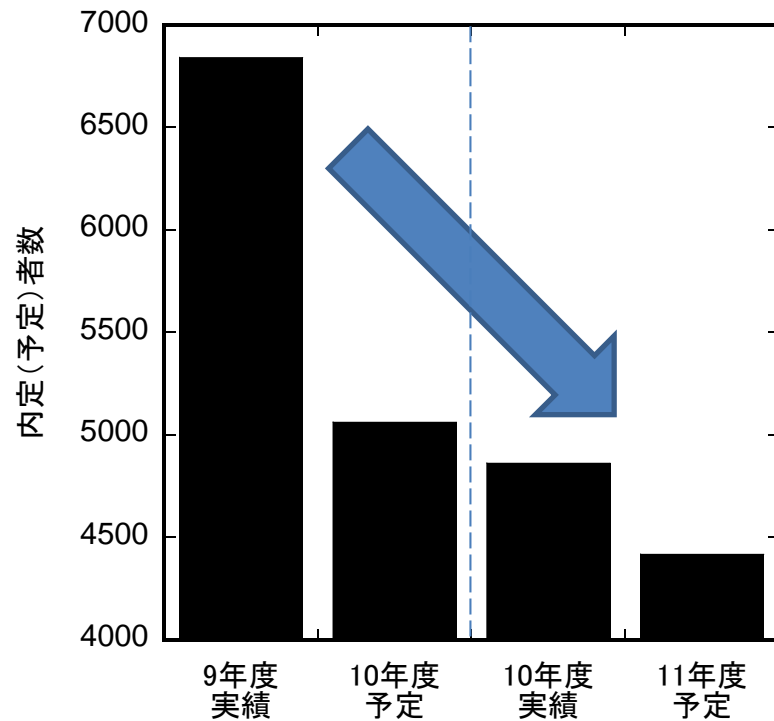
企業名	増減	事務系		技術系		11年予定
		11年予定	10年実績	11年予定	10年実績	
【食品】						
アサヒ	→	未定	72 (32)	未定	21 (6)	未定
ヒビ	→	60	66 (30)	11	20 (7)	22
サントリー	↑↑↑	計115	85 (23)		54 (3)	
味の素	↑↑↑	45	34 (14)	50	38 (13)	2
明治	→	34	32 (9)	31	29 (4)	
日本たばこ産業	→	約210	計194 (46)			大卒
【繊維・化学】						
帝人	→	未定	23 (5)	未定	35 (8)	未定
東レ	→	未定	48 (※)	未定	88 (※)	未定
王子	→	8	5 (※)	12	17 (※)	1
旭化成	↑↑↑	80	69 (18)	160	159 (35)	70
住友化学	↑↑↑	20	19 (6)	80	81 (9)	6
花王	↑↑↑	44	64 (37)	99	112 (46)	10
花王	↑↑↑	110	110 (43)	270	268 (26)	5
資生堂	↑↑↑	70	78 (31)	20	26 (13)	10
日本石	↑↑↑	15	19 (5)	30	41 (4)	未定
第一三	↑↑↑	約40	37 (14)	約30	23 (8)	未定
武田薬品工業	↑↑↑	未定	計約250 (※)	未定		未定
【ゴム・ガラス・金属】						
ブリヂストン	→	40	61 (26)	110	130 (17)	未定
旭硝子	→	27	30 (8)	78	77 (5)	大卒
日本製鉄	→	55	54 (6)	145	145 (3)	大卒
JFE	→	約40	30 (6)	約110	106 (2)	未定
三菱マテリア	→	18	2 (2)	41	2 (2)	大卒
住友電気工業	→	32	26 (7)	78	76 (3)	大卒
【電機】						
東芝	→	140	130 (※)	400	370 (※)	90
三菱電機	→	180	175 (55)	530	520 (50)	大卒
日立	↑↑↑	300	100 (※)	事務・技術の区別なし		大卒
富士通	↑↑↑	170	170 (※)	370	270 (※)	大卒
パナソニック	↑↑↑	60	100 (※)	230	400 (※)	未定
シャープ	↑↑↑	未定	80 (※)	未定	高専200 (※)	未定
日立	↑↑↑	70	64 (20)	200	170 (24)	未定
日立	↑↑↑	高専700	高専700 (140)	事務・技術の区別なし		未定
日立	↑↑↑	未定	28 (15)	未定	52 (14)	未定
日立	↑↑↑	30	37 (7)	300	275 (15)	大卒
日立	↑↑↑	70	82 (29)	260	239 (20)	大卒
日立	↑↑↑	計250	210 (22)	事務・技術の区別なし		大卒
【機械・自動車・諸工業】						
三菱重工業	→	160	160 (※)	350	520 (※)	15
日立	→	48	47 (15)	高専165	高専157 (7)	大卒
日立	→	未定	約50 (※)	未定	大卒	未定
日立	→	80	109 (24)	高専380	高専407 (13)	大卒
日立	→	45	70 (※)	高専350	高専540 (※)	大卒
日立	→	未定	120 (40)	未定	高専130 (80)	大卒

そういえば、去年も同じ様な記事があった！

2010年3月28日：朝日新聞

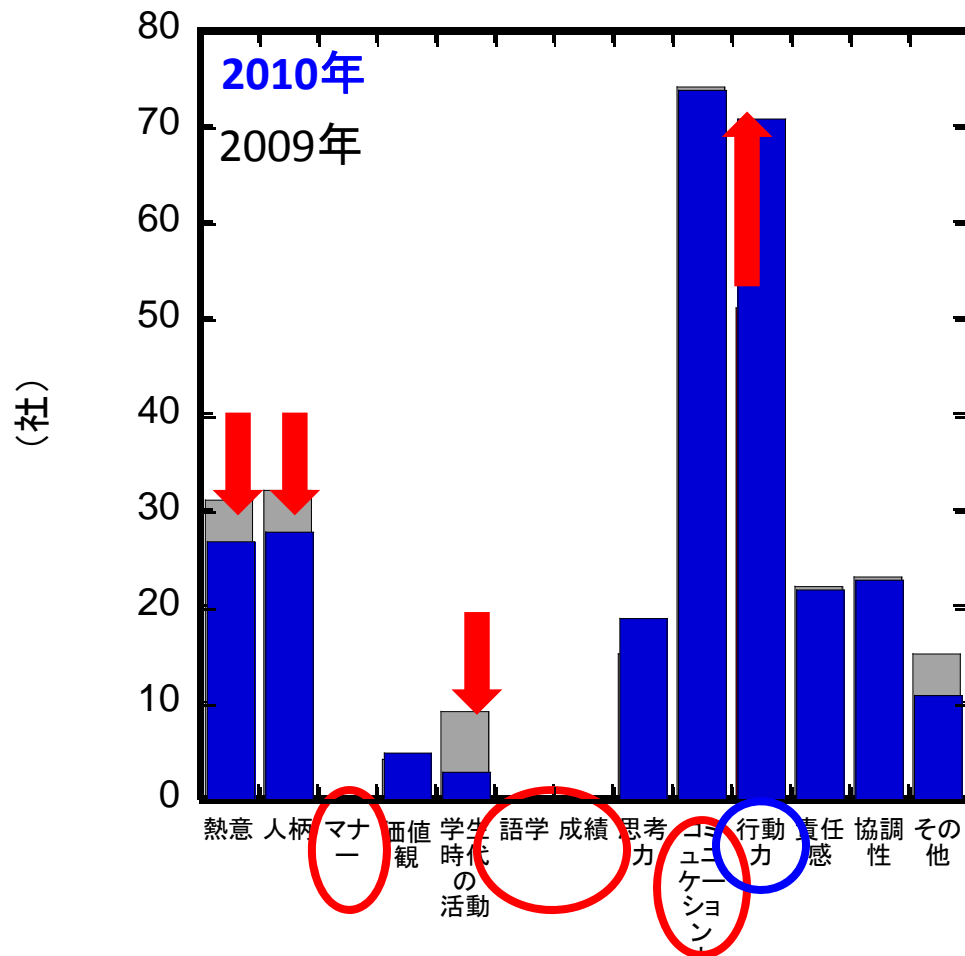


# 2011年度の予定は？



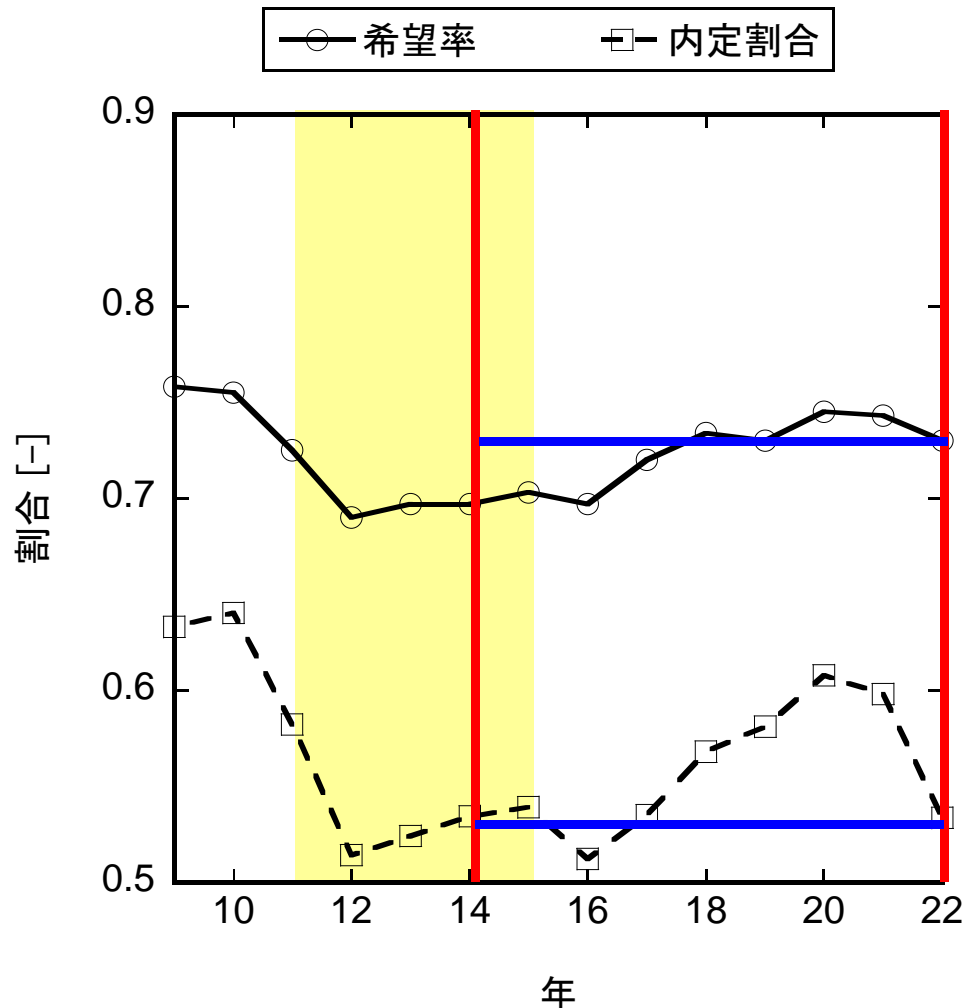
全体として2011年度は、2010年度よりちょっと厳しい。

# 就職活動に何が必要か？



- コミュニケーション力が、一番重要。
- マナー、語学力、成績を重視するのはは0社！
- 今年度は「**行動力**」がポイント。

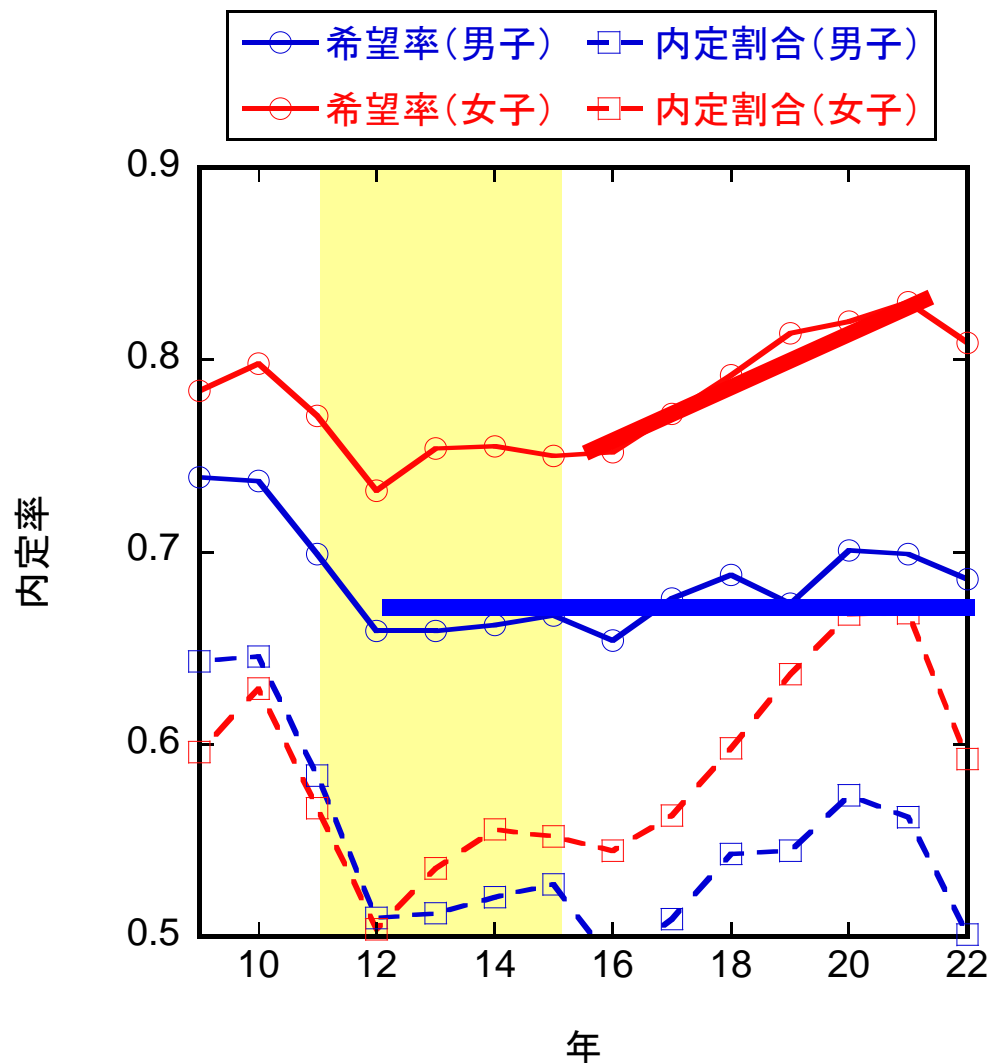
# 就職希望率と内定割合



- 平成14年頃のアンケートと比較
- 就職希望率は高い。
- 内定数は同程度。
- 前回の就職氷河期の終盤より、少し厳しい状況

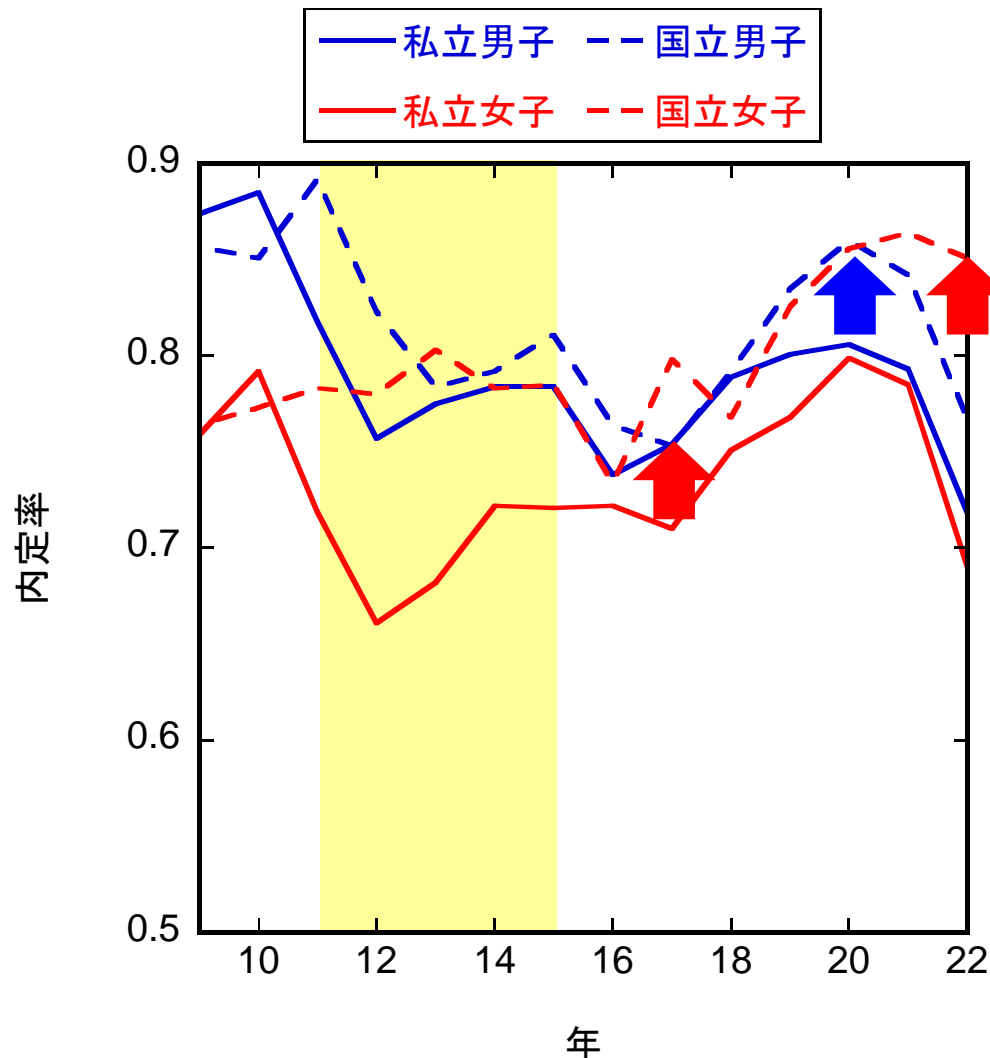


# 男女の差はあるのか？



- 景気が良くなると女性の大学院進学率が低下する。
- 男性の大学院進学率はそれほど変化しない。
- ここ数年は女性の内定者が多い。

# 国立と私立の違い



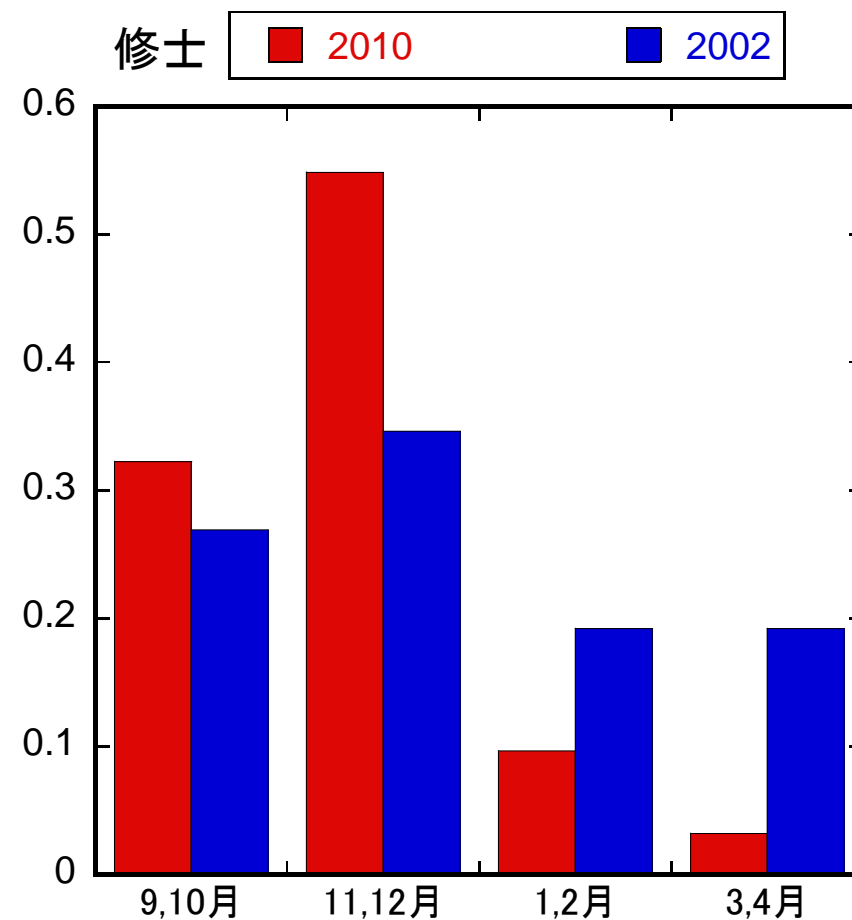
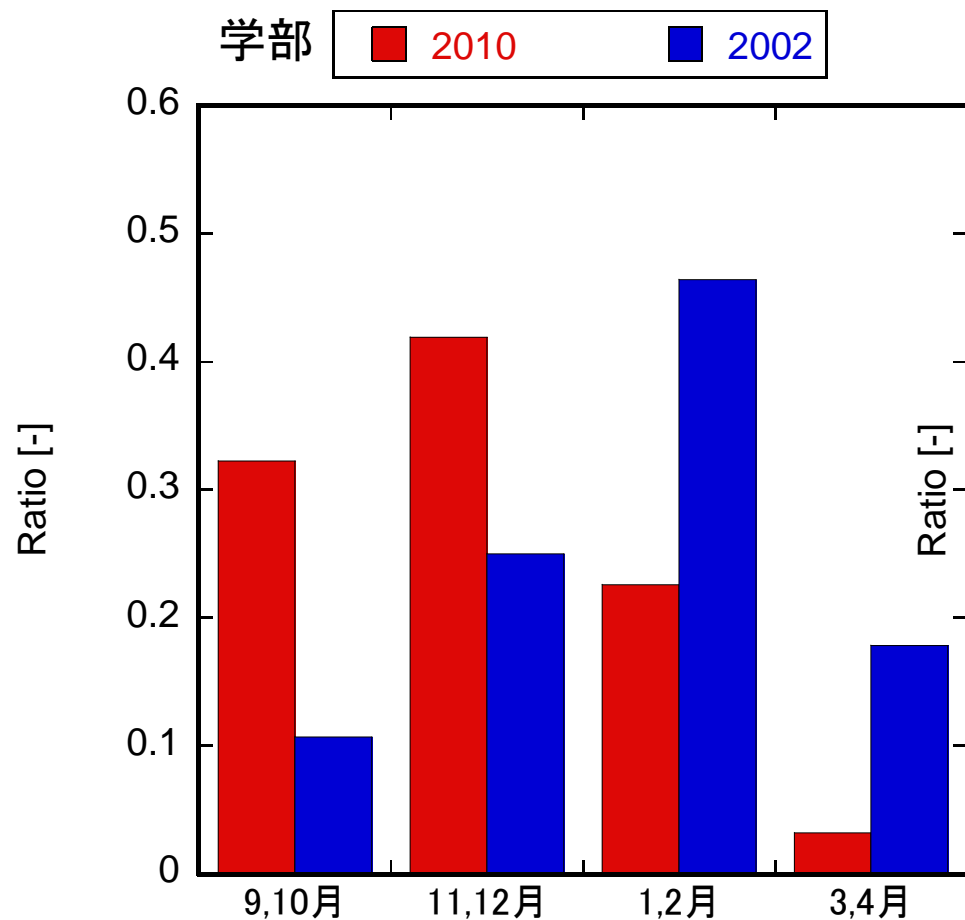
- ここ数年、国立の方が10%程度高くなった。
- 国立の女性は非常に良い。
- 私立では、男女差はなくなった。

# アンケート項目

- 就職活動の開始時期
- 内々定通知を得る時期
- 内々定通知までの時間
- 応募方法
- 就職できなかった学生の割合
- 望ましい就職活動開始時期
- 就職活動が教育・研究活動に与える影響

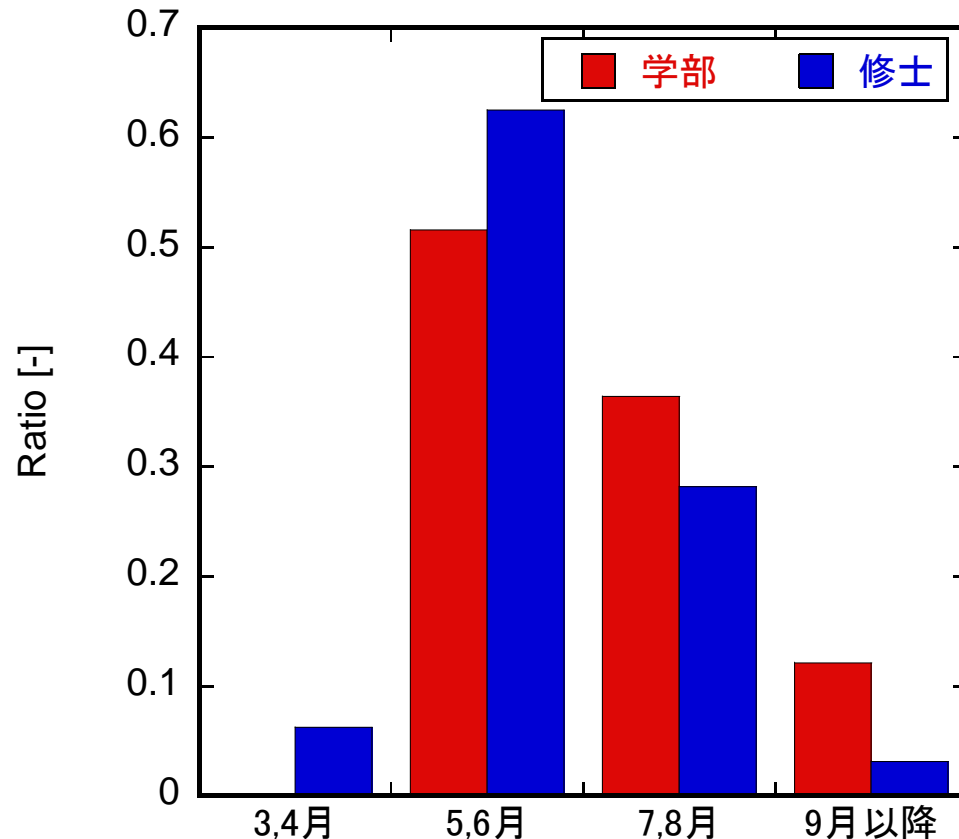
日本大学・物質応用化学科、関東学院大学・物質生命科学科、慶應義塾大学・応用化学科、東京工芸大学・生命環境科学科、中央大学・応用化学科、明星大学・化学科、東邦大学・化学科、東洋大学・応用化学科、城西大学・化学科、東海大学・化学科、青山学院大学・化学・生命科学科、北里大学・化学科、慶應義塾大学・化学科、東京理科大学・化学科、日本大学・生命応用化学科、早稲田大学・化学・生命科学科、成蹊大学・物質生命理工学科、埼玉工業大学・生命環境化学科、東京理科大学・工業化学科、東海大学・生命化学科、神奈川工科大学・応用化学科、明治大学・応用化学科、日本大学・応用分子化学科、工学院大学・応用化学科、東京理科大学・工業化学科、立教大学・化学科、東京電機大学・環境化学科、東京理科大学・工業化学科、学習院大学・化学科、東海大学・応用化学科、上智大学・物質生命理工学科、法政大学・環境応用化学科、早稲田大学・応用化学科、芝浦工業大学・応用化学科（以上34学科）

# 就職活動の開始時期



就職活動開始時期は早期化している。

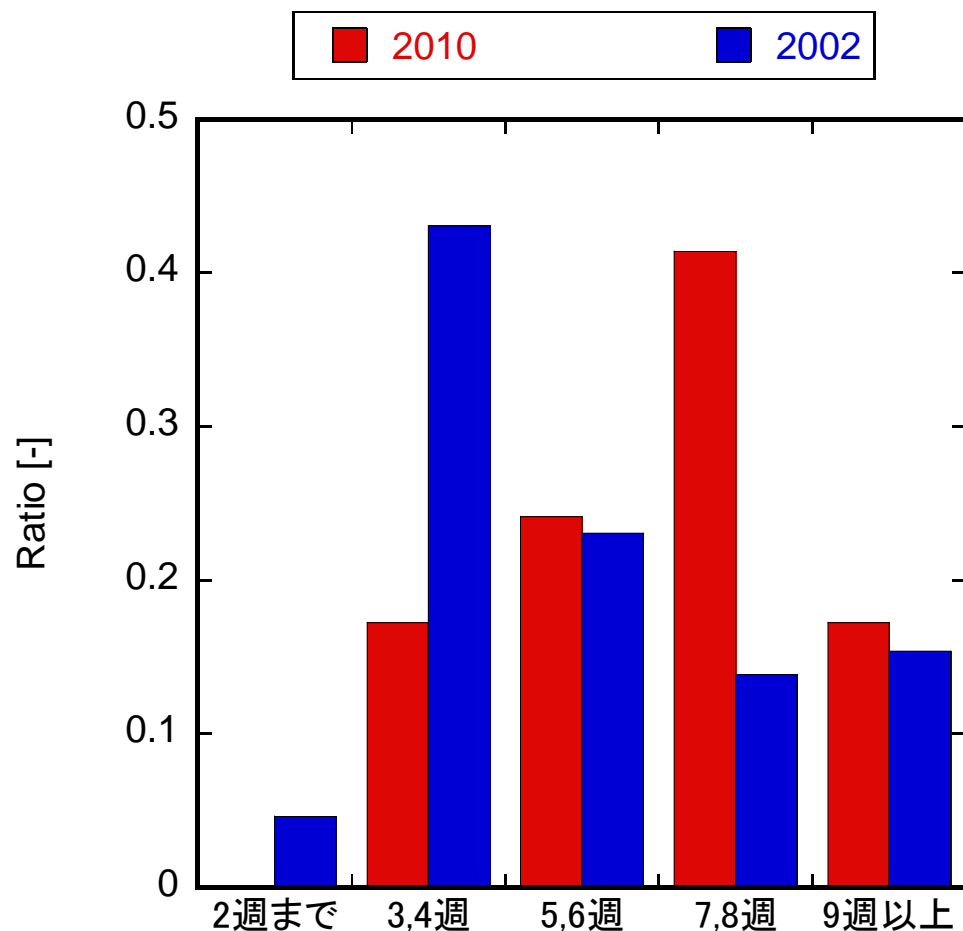
# 半数が内々定を得る時期



- 6月がピークである。
- 学部と修士の違いは大きくない。
- 平均的に、9ヶ月以上の就職活動を行っている。

➡ 授業時間よりも長い可能性が大きい。

# エントリーから内々定通知までの時間

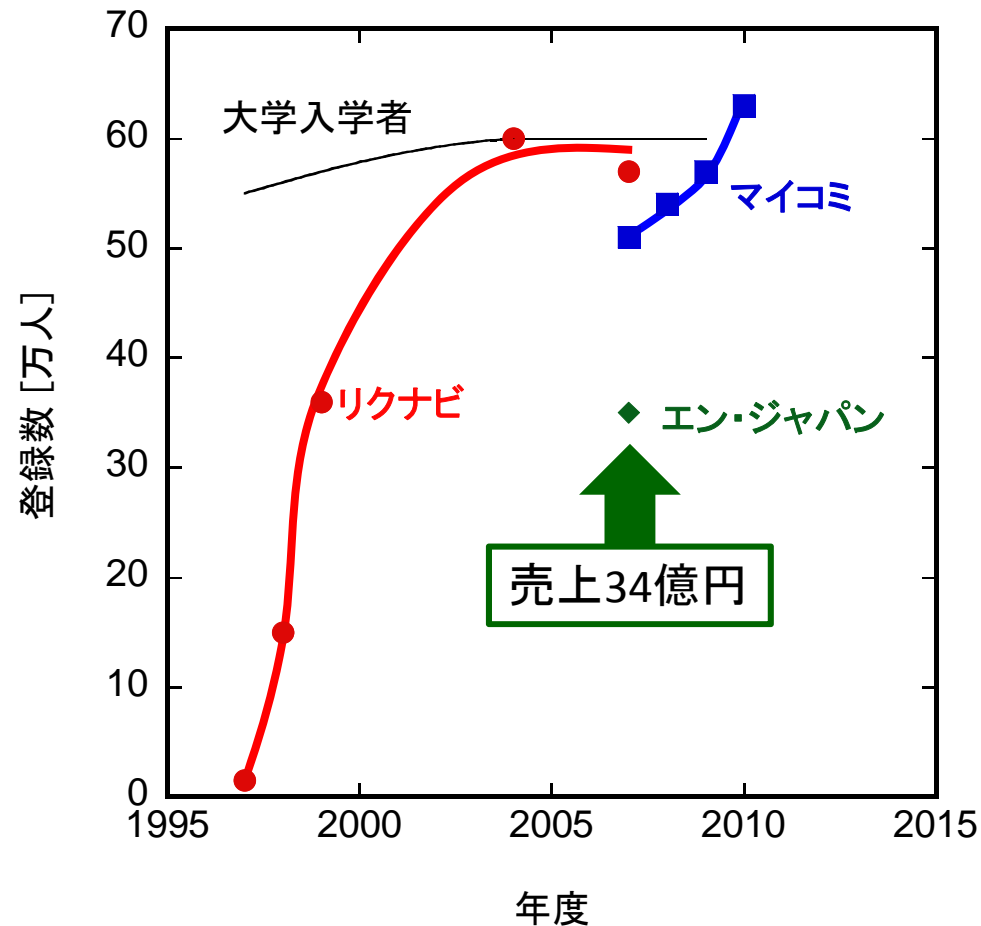


- エントリーから、内定が出るまでに、約2ヶ月かかる。
- 2002年は、約1ヶ月であった。
- 各社のエントリー数が増えている可能性がある。



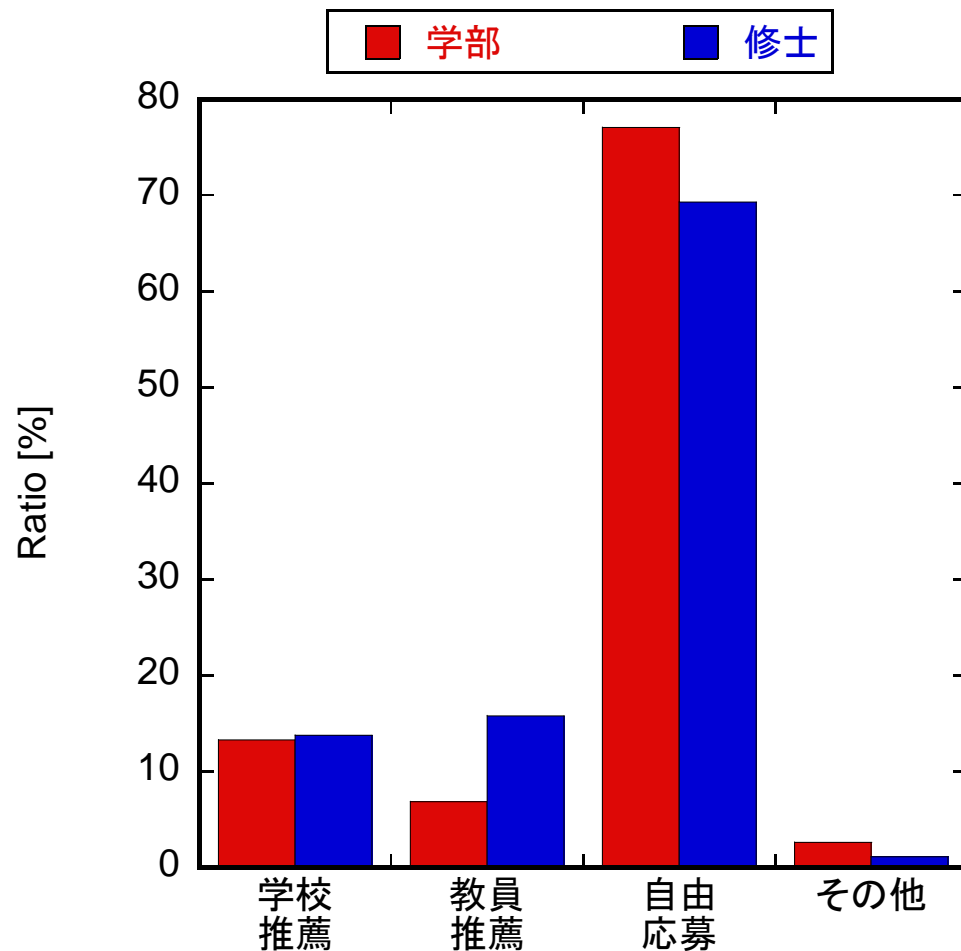
インターネットを利用した安易なエントリーが問題？

# ネット就活



- リクナビ、マイコミは、ほぼ全員登録している。
- 業界4位のエン・ジャパンの売上は34億円。
- 本年度はエントリーを1ヶ月先送り。

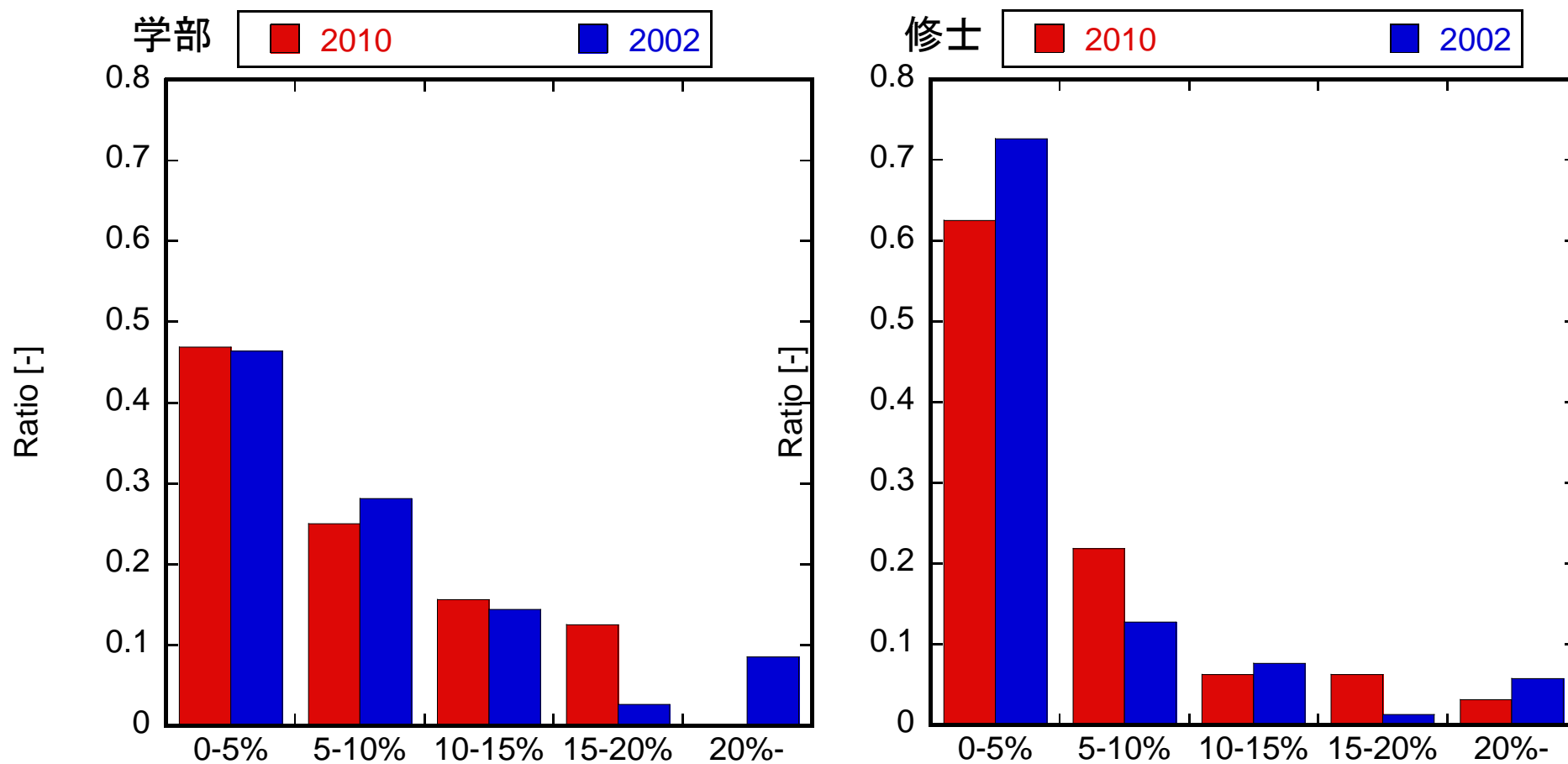
# 応募方法



- 70%以上が自由応募である。
- 学校推薦、教員推薦は、多くない。
- 学部と修士の違いも大きくない。

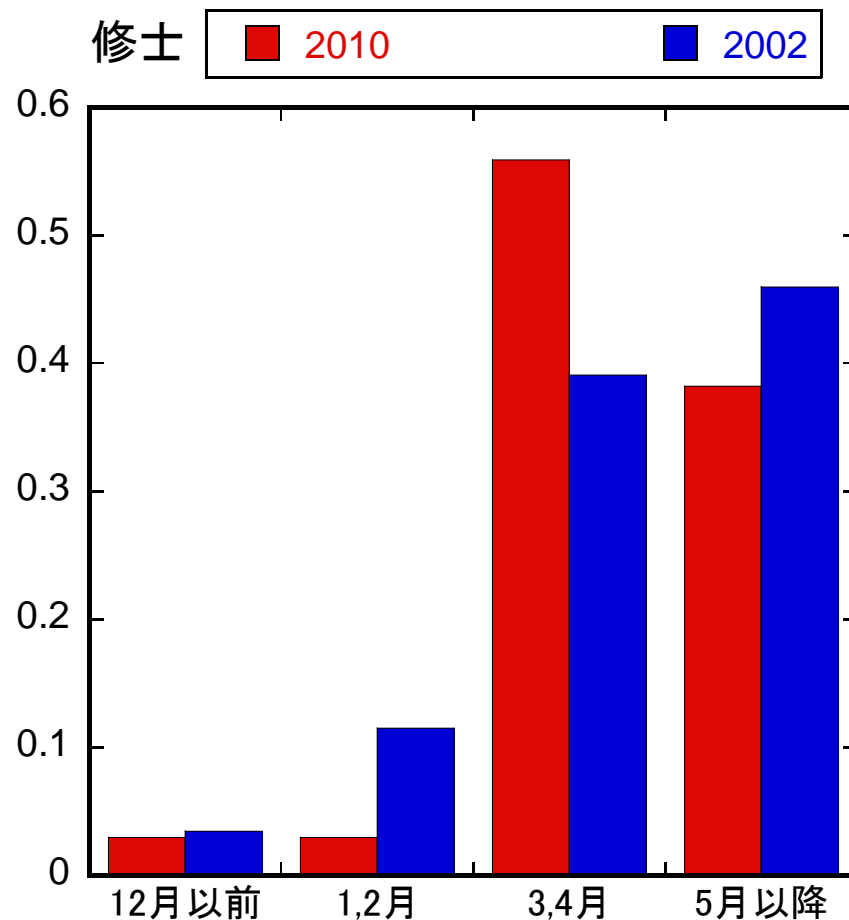
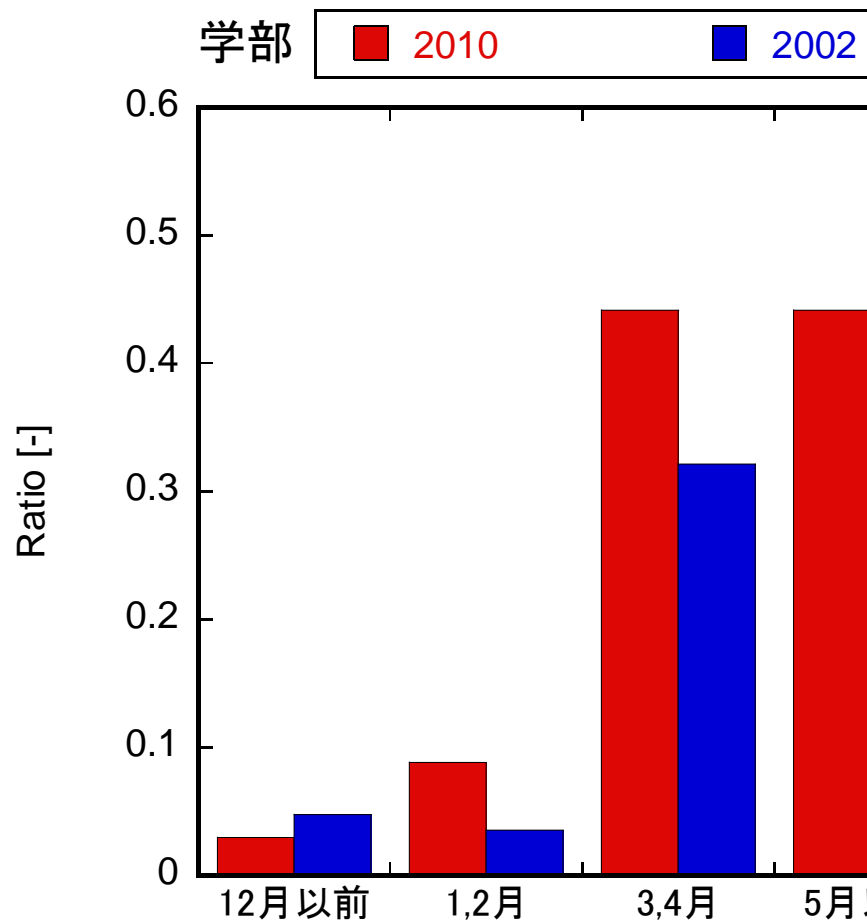


# 未内定者の割合



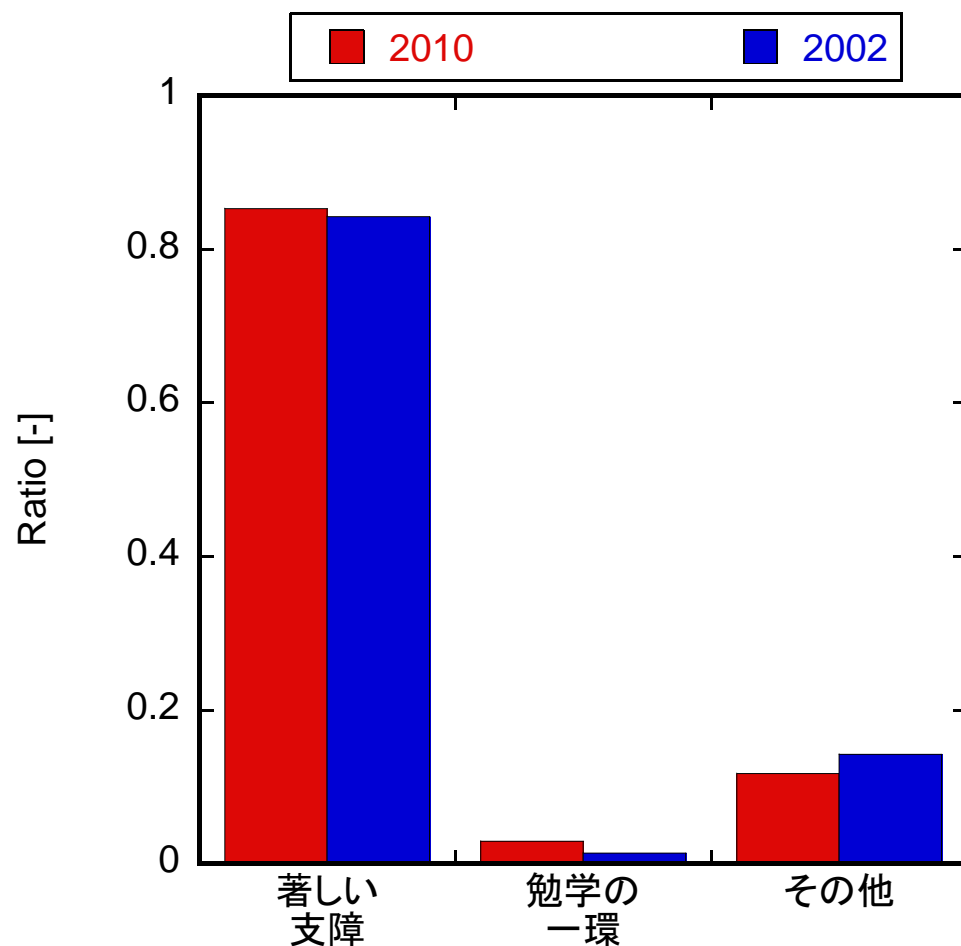
未内定者は、まだ、大きな変化はない。

# 就職活動開始時期希望



就職開始時期の希望は変化していない。

# 勉学への影響



- ガイダンス
- 面接
- カウンセリング
- OB・OGの説明会
- インターンシップ
  
- 研究室での個別対応



個々の事例に対して、一般的な対応では限界がある。

# 日本大学応用分子化学科の取り組み

- 10月に、3年生および修士1年生を対象に化学関連企業のセミナーを実施している。
- 11月に、OB・OGとの交流会を実施している。
- 学科独自の就職資料室があり、求人情報、OB・OGの就職活動記録が保管されている。

# アンケート結果～まとめ

- 就職開始時期は、3ヶ月ほど早くなっている。
  - 通常の活動で約9ヶ月、就職活動を行っている。
  - 7割以上が自由応募である。
- エントリーから内定が出るまでの時間は倍になっている。
- 未内定者数は、それほど変化していない。
  - 厚生労働省のデータと対応→上記も精度がある。
- 就職活動開始時期の希望は、3月以降が多い。

# 国立大学の動き

## 「採用選考活動の正常化に向けての要望と宣言」

### 要望と宣言

近年の企業の採用選考活動の早期化・長期化は、日本の大学における教育研究活動に様々な影響を及ぼしており、正常かつ健全な教育活動が極めて困難な状況となっています。これまでの歴史を振り返ってもわかる通り、一度崩壊した教育研究現場を正常化することは容易ではありません。このまま採用活動の早期化・長期化が続くと、大学側も有能な人材を育成し、自信を持って社会に輩出することができなくなると危惧されます。

2007年10月16日、社団法人・日本経済団体連合会（以下、経団連）は「2008年度大学・大学院新規学卒者等の採用選考に関する企業の倫理憲章」を発表しました。この倫理憲章は従来のものとは大きく異なり、学部卒業生ばかりでなく大学院修了生をも明確に対象としています。大学院修了学年、学部卒業学年に達していない学生に対する実質的な採用選考活動を行うことを厳に慎むべきであるとしています。

今般、経団連が「企業の倫理憲章」を公表した趣旨を踏まえ、我々（本要望・宣言に賛同した専攻・学科は文末に列挙する）は企業に対して、以下の事項を強く要望します。

大学院修士課程学生及び学部学生への採用選考活動に関しては、採用試験はもとより

- (1) 採用条件に関する問い合わせ等への回答・対応
- (2) 会社説明会・セミナーの開催や大学への表敬訪問
- (3) ウェブエントリー
- (4) 面接
- (5) 就職勧誘目的の色彩が濃いと判断される企業インターンシップ
- (6) 就職前提の奨学金の早期貸与（困窮学生を除く）

等、あらゆる採用選考に関係する業務の開始を修了学年・卒業学年の4月1日以降とする。

内定後の大学院修士課程学生及び学部学生に対して、学業に支障をきたす恐れのある自己学習、レポート作成、研修等を要求しない。

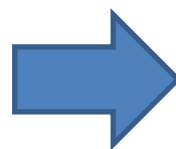
- エントリーを含め4月以降となるよう求めている。
- 複数企業の内定を得ないように指導。

# 経団連の動き

- 大学卒業予定者・大学院修士課程修了予定者等の採用選考に関する企業の倫理憲章
  - 1. 正常な学校教育と学習環境の確保
  - 2. 選考活動早期開始の自粛
  - 3. 公平・公正な採用の徹底
  - 4. 情報の公開
  - 5. 広報活動であることの明示
  - 6. 採用内定日の遵守
    - 正式な内定日は、10月1日以降とする。

# 倫理憲章の問題点

- 採用選考活動は、「広報活動」と「選考活動」である。
- 「実質的な選考活動」とは、「選考の意思をもって学生の順位付けまたは選抜を行うもの」、「当該活動に参加しないと次のステップに進めないもの」を言う。



罰則規定がない。  
参加企業が限られている。  
抜け穴がある。



# まとめ & 問題提起

- 早期化の問題点は、長期化にある。
  - 経団連の倫理憲章は、長期化を促進している？
    - 制限するなら、説明会や面接の時間？
  - ネットによるエントリー数の増大は、企業、大学双方にデメリットがある？
  - 大学の教育とは何か？
- 就職に苦戦する学生に対して、有効なシステムはあるのか？
  - 多くの大学が、個別対応している。